

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和5年6月定例会	
議案番号 議案名	議案第6号 令和5年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)
議員名・会派名等	日本共産党 ミール計恵
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>みなさんこんにちは。日本共産党のミール計恵です。ただいま建設経済常任委員長より報告のありました議案第6号 令和5年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)について、会派を代表して反対の立場から討論します。</p> <p>本補正予算は本年10月2日～4日の3日間で行われる新設の特別競輪である、オールガールズクラシック(G1)が松戸競輪で開催されることに伴う、補正予算です。令和4年11月に開催募集があり、松戸市が応募し審査の上決定したものです。本開催は月曜から水曜の3日間、観客を入れ、15:30～20:30までのナイターで、女子選手84名により12レースが行われます。</p> <p>では反対の理由について2点申し上げます。</p> <p>まず1点目は委託料等と比べても非常に低い繰り出し金の金額とその不確実性です。ギャンブルを公営で運営できる唯一の根拠は、財政への貢献です。つまり売り上げからその一部を市財政に繰り出すことによってその運営が認められています。</p> <p>しかしながら今回の審査では、競輪事業に関わる様々な経費、委託料、負担金などはきっちりと確保されていますが、繰り出し金については、剰余が出たらということ、その金額は非常に不確実で、かつ現状売り上げが伸びている中でも少ないことがわかりました。</p> <p>たとえば、今回のガールズ競輪では関係業務委託料3億3千45万5千円は約20億の予算の約16.5%、払戻金の75%について大きい割合です。</p> <p>審査ではそのうちインターネット投票サイトの発売委託料として1億6029万4200円、場外発売委託料として6072万円、競輪場運営の包括委託料として1億944万円が松戸公産に支払われることがわかりました。わずか3日間、1日5時間のナイターの競輪場運営委託に1億超を支出する、1日にすると約3300万円です。審査では具体的にその内訳を聞きましたが、年に一度の精算会議で中身を確認するということでしたが、その詳細は明らかにされませんでした。</p> <p>一方で、公営ギャンブルの存在根拠である一般会計への繰り出し金ですが、基本的には繰り出し金は前々年度の決算額をもとに決定</p>

しており、令和元年度の繰り出し金は1億円で、平成29年度の売上155億円に対して0.65%、令和2年度1億円で、売上195億円に対して0.51%、令和3年度は3億円で売り上げ252億円に対して1.19%、令和4年度4億円で売り上げ177億円に対して2.26%、令和5年度3.5億円で売り上げ247億円に対して1.42%と委託料などに比べて非常に少ないということがわかります。また現状では売り上げは比較的好調ですが、今後はわからず、仮に赤字になれば市の持ち出しということにもなりかねません。

次に2点目は依存症の問題です。競輪事業の依存症対策は大きく3つあります。それは啓発、相談、利用制限です。啓発は依存症への注意喚起のポスター掲示や動画作成であり、それが依存症の方にどれだけの効果があるのかは疑問です。また相談については令和3年度、松戸では実績ゼロ件、全国でも公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター全体で65件です。また入場制限申請は松戸ではゼロ件、全国でも8件とほとんど実績はありません。さらにネットのアクセス制限も自己申告が616件、家族からは4件で全体のネット利用者から見ればわずかな件数です。

このようにギャンブルの重大な問題である依存症に対する対策は現状ではほとんど利用されておらず対策は実効性がなく全く不十分であると言わざるを得ません。

あるギャンブル依存症の研究グループのスクリーニングテストによるとギャンブル利用者の約2.2%は依存症になるといわれています。市が新たな競輪を開催すればするほど、利用者が増える可能性があり、さらなる依存症患者を生み出すことにつながる新たな開催は認められません。また近年では8割以上がネットや電話での購入で、自宅にいながらにして気軽に特に若い世代もギャンブルを始めやすい環境があり、ネットギャンブルにはまる若者が増えているという報道もあり、その影響は深刻です。

以上、依存症患者を生み出すギャンブルを、財政への貢献を唯一の根拠に公営で行うことに私たち会派は一貫して反対しています。その財政への貢献も割合的には非常に少なく不安定であり、依存症対策も全く不十分で実効性はほとんどありません。したがって黒字であり、積立金もある現状で、一日も早い競輪事業からの撤退を求めて反対の討論とします。